

高浜市やきものの里かわら美術館 企画展

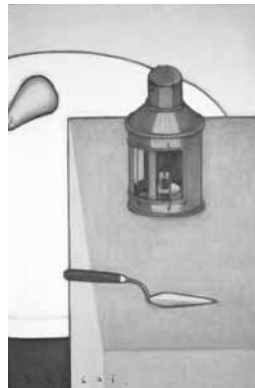
「絵画の詩学」

11月23日(金・祝)～平成31年1月14日(月・祝)

当館所蔵の絵画と、絵画のイメージに合わせた詩や言葉を併せて展示します。小説や詩集には、しばしば読み手のイメージを補助する挿絵が添えられます。本展はその逆、つまり絵画のイメージを補助、あるいは手がかりとして詩や言葉を添える展覧会です。

他者の詩や言葉をとおして作品を再度鑑賞することで、新しい解釈が生まれるかもしれません。美術作品は作家の表現であり、言葉も使い手の表現です。絵画を鑑賞しながら「言葉」と「表現」について考えてみませんか。

- 観覧時間** 午前10時～午後5時（観覧券の販売は午後4時30分まで）
- 観覧料** 高校生以上200円（160円）、中学生以下無料
 ＊（ ）内は20人以上の団体料金、または高浜市内居住者
 ＊75歳以上の方、各種障害者手帳をお持ちの方ほか、割引あり
- 休館日** 月曜日、火曜日、12月25日(火)～平成31年1月3日(木)
 ＊ただし12月24日(月・休)、平成31年1月14日(月・祝)は開館



笠井誠一「ランプのある静物」1984年

人生には二つの生き方がある。
 ひとつは奇跡なんて存在しないと思って生きる事、もうひとつは全てが奇跡だと思ってる事である。
 —アルバート・アインシュタイン



久野和洋「地の風景-CASADIGIOTTOへの道」2010年

『歌集「滑走路」を読む—日常の詩学』とき：12月24日(月・休) 午後2時～／講師：稲垣えみ子氏

参加費：無料（ただし観覧券が必要）／定員：100人（先着順、電話またはメールで申込み）

「今、を積み重ねる毎日を綴るエッセイで注目を集める稲垣えみ子さんに、日常の表現についてお話しいたします。また、若き歌人・萩原慎一郎さんの歌集『滑走路』を読み深め、三十一文字の世界に映る社会を考察し、日常を表現する豊かさ・難しさについて学びます。

ワークショップ『千の言葉よりもあなたの一言が大切だといっても過言ではない！』

とき：会期中常時開催／ところ：展示室内／費用：無料（ただし観覧券が必要）

展示作品を鑑賞し、それぞれが感じた言葉や詩を紙に書いて展示室内に貼付けます。あなたの言葉によって、観覧者に新しい解釈が生まれるかもしれません。

ギャラリートーク

とき：12月15日(土)、平成31年1月13日(日) 午後2時～／費用：無料（ただし観覧券が必要）

夜空にキラめく みんなのオリオン座コンサート

力強く、優しいトランペットとピアノが奏でるジャズの音色。星空を見上げて来年を想うコンサートです。

とき 12月18日(火) 開場：午後5時30分 開演：午後6時

出演者 市原ひかり（トランペット）、成田祐一（ピアノ）

特別ゲスト：高浜高等学校吹奏楽部の皆さん

演奏曲目 市原ひかりCD「Dear Gatsby（親愛なるギャツビー）」より数曲、「星に願いを（ハーライン）」、「故郷（岡野貞一）」など

入場料 前売り700円（当日1,000円）《全席自由》※未就学児の入場は遠慮してください。

チケット取扱い かわら美術館ミュージアムショップ（電話、メールで予約可）